



暮らしの発見

ピッタリの靴選び



そもそも足というものは、平面だけではなく立体的なもの。靴も立体的に作られています。なのに、足長のサイズだけで選んだり、デザイン重視で探していませんか？ピッタリの靴が見つからない一番の原因は、実はそこにあるのです。一人ひとり顔の形が違うように、足も、甲が高い、幅が狭いなど個性があります。ですから、フィットする靴を選ぼうと思ったら、まずは自分の足の型を正確に知ることが肝心。足の型というものは、足長、甲の高さ、指周り、足幅の四点がポイントになります。市販の既製靴は、JIS規格といって平均的なサイズの組み合わせでつくられていますから、自分に合う靴が簡単に見つからなくて当然なのです。専門店で足のカウンセリングをもらい、自分の足の状態・歩き方・足長・甲の高さを調べてもらってから靴を選ぶようにしてみてもいいでしょう。自分に合った靴で出掛けるのが楽しくなりそうです。

残ったビールを生かすコツ

開けたのはいいけど、飲みきれずに少し残ったビール。捨てるのは勿体ないですよね。実は捨てるに活用する方法があるのです。ビールを布が湿るぐらいに含ませ、冷蔵庫の庫内を拭けば、汚れが落ち、気になる臭いも解消してくれます。ビールの臭いは、時間とともに消えるのでご心配なく。



お酢で服のテカリを元通りに

アイロンがけの失敗で、衣類がテカったという経験は？慌てなくても大丈夫。酢1：水2の割合の液を薄いタオルに含ませ、テカっている部分に塗り、アイロンをかければ解消します。



服のシワをお風呂場に干せば一発

明日着ようと服をタンスから出したら、気になるシワが…。サッとシワを取るにはお風呂場が便利。入浴後、浴槽の蓋を開けたままにしておき、そこに一晩つるします。翌朝、風通しのいい場所で乾かすだけ。必死にアイロンがけをしていたのが嘘のようです。

保険あれこれ

物の損害から休業損害までカバー

対物賠償保険とは、交通事故を起こして、他人のクルマやモノなどの財物に、破損・汚損・滅失などの損害を与え、賠償責任を負った場合に保険金が支払われる保険です。小さな事故ならポケットマネーで何とか解決できるかもしれませんが、ぶつかった相手が高級外車や営業車、店舗、信号機などの場合は、多額の請求をされることもあります。また、損害賠償請求されるのは修理代だけではなく、間接的な損害、つまり休業損害や営業損失なども損害として積算されるのです。相手が観光バスや電車の場合も相当な損害賠償になることは、もうおわかりですね。このような事故が起こった場合、あなたは保険なしで十分な賠償ができるのでしょうか？「たかが対物事故」と甘く見ず、万一の為に十分な保険金額で契約しておくことをお勧めします。ただ、対物も対人と同じように被保険者の所有する財物は対象になりませんので、お気をつけ下さい。

S
P
R
I
N
G

